

## 連合福島第25回定期大会開かれる

# 連合福島の復興と再生に総力を挙げて取り組み、 「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう！

連合福島の第25回定期大会は10月25日福島市のグリーンパレスで開催され、役員・代議員など250名が出席した。冒頭影山道幸連合福島会長は「連合福島としてまず取り組むべき優先課題は、福島県の復興と再生に向け総力を挙げて取り組むことである。また、今後の各選挙に対する方針は、引き続き政権交代可能な二大政党的体制を目指し、選挙に勝利するため更なる求心力を高めて行くことである。2014年春季生活闘争においては、まずは月例賃金の引き上げの検討を要請し、非正規労働者の処遇改善に向け総力を挙げて取り組まなければならない。更に、連合福島は10万連合を目指すため、組織の総意を以て取り組んで行きたい。当面、取り巻く環境は予断を許さない状況にあるが、社会の不条理と向き合いながら『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて全力を傾注して取り組むことを全体で確認して参りたい。」と挨拶した。



主催者を代表して挨拶する影山道幸連合福島会長

経過報告の後、今次定期大会における新規加盟組織の紹介では「UAゼンセンいちい労働組合」「エム・セテック労働組合」「東京電力労働組合福島本部総支部」「東京パワーテクノロジー労働組合」「レンゴーロジスティックス労働組合福島県支部」の4産別5単組、組合員合計2,

887名が紹介され、組合旗の贈呈が行われた。また、2014～2015年の運動方針に対しては、電機連合 生亀代議員、自治労 今野代議員、全水道 南代議員から意見・質問が出されたが、執行部が答弁した後、満場一致で承認された。更に、役員改選においては、影山道幸会長（運輸労連）と今泉裕事務局長（電機連合）体制が再選され、会長代行については空席とした。最後に大会宣言並びに特別決議が採択され、影山会長のガンバロー三唱をもって第25回定期大会は閉会となった。



真剣に傾聴する代議員の皆さん



力強くガンバロー三唱する代議員の皆さん